

4/15-21 #9 ざくろの地 Birds Eye View 聖書において、ざくろが表徴するのは、命の豊満、命の満ちあふれと美しさ、命の豊富の表現です。申8:8 小麦と大麦とぶどうといちじくの木とざくろのある地... A 熟したざくろとその種は、命の豊満と命の満ちあふれと美しさとの印象を与えます。B 私たちがキリストを小麦、大麦、ぶどうの木、いちじくの木として経験し享受するなら、キリストの命の満ちあふれが私たちと共にあり、キリストの美しさが私たちの周りにあるでしょう。これがキリストをざくろとして経験することです。C 私たちは、命において成長して円熟するなら、ざくろとなります。コロ2:19 かしらに結び付いて...この方から、からだ全体は、...神の増し加わりによって成長するのです。1:27 あなたがたの内にはキリストであり、栄光の望みです。28 私たちはこのキリストを告げ知らせ、知恵を尽くしてすべての人を戒め、すべての人を教えています。それは私たちが、キリストの中で完全に成長したすべての人を、ささげるためです。1 私たちは、主イエスに対する私たちの愛から、進んで彼によって支配され規制されればされるほど、ますます命において成長します。2 私たちは、キリストがすべてを含むこととすべてに拡張することのビジョンを見るなら、私たちの全存在をこのキリストに集中させるでしょう。そうすれば、彼は私たちを満たし、私たちに浸透します。a 私たちの存在は、広大な、計り知れないほど豊かな、拡張するキリストで占有されます。b 私たちにとって生きることは、私たちを所有し、ご自身で私たちを満たし占有するキリストとなります。エペソ3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、18 力に満たされて、すべての聖徒たちと共に、その広さ、長さ、高さ、深さが何であるかを会得し...19 あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。3 キリストの中で完全に成長することは、キリストで満たされ、浸透され、飽和されることです。a これは、私たちの存在のあらゆる部分がキリストで占有されることです。b これが命における成長、また命における円熟であり、コロサイに啓示されているキリストを経験した結果です。II ざくろと金の鈴が、大祭司の上服(召会を表徴する)の底部にありました。出28:33 そのすそに、青色と紫色と緋色の撚り糸でざくろを作り、そのすその周りにこれを付け、その周りのざくろの間に金の鈴を付けなければならない。34 すなわち、上服のすその周りに、金の鈴とざくろ、金の鈴とざくろとなるようにしなければならない。A 召会は人性において命に満ちているべきです。これが、亜麻布で作られたざくろの意義です。B 召会は人性を、命の豊満の表現のために持っており、また神性を、金の鈴を鳴らすために持っていま

す。1 命の豊満は、召会の人性において表現されませんが、警告の声は、召会の神性(金の鈴)において表現されます。2 私たちはまず命の豊満の表現を持ち、次に金の鈴の音、召会の神性から出る語りかけを持ちます。3 私たちの人性において表現される命の美しさと、金の鈴から出る神聖な音は、正常な召会生活のしるしです。III 宮の柱の頂にある柱頭を囲む200のざくろは、命の豊富の表現を表徴します。エレ52:23 空中に向かって96のざくろがあり、周りの網細工の上には全部で百のざくろがあった。ヨハネ7:38 私の中へと信じる者は、...その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る。A 自分自身を裁く者(青銅)と、自分自身を無と考える者は、錯綜した複雑な状況(格子細工の網と鎖細工の飾りひも)のただ中で、完全に責任を担うことができます。なぜなら、彼らは自分自身によってではなく、神にある信仰(ゆりの花の細工)によって生きるからです。ですから、彼らは200倍の命の豊富(ざくろ)を表現します。B 100個ごとのざくろのうち、96個が空中に露出しており、4個が覆われていました。1 命の豊富の表現は永遠に完全であり、復活の新鮮さの中に、またその霊の中にあります。2 百個ごとのざくろのうち4個が隠されていたという事実は、私たちの天然の存在、私たちの天然の命、私たちの自己が隠されなければならないことを示します。3 私たちの天然の存在が消え去るとき、私たちは、96個のざくろ、霊的な空気の実際の中にあるキリストの命の豊かな表現を持ちます。IV 雅歌によれば、ざくろには、個人の信者とキリストとの愛情に満ちた交わりの漸進的な経験において、霊的な意義があります。A 「あなたの両頬は、ベールの後ろにあって、ざくろの片割れのようなだ」(4:3b)。B 「私はくるみの果樹園へ下って行きました。谷間の新緑を見るために、またぶどうの木が芽を出したか、ざくろの花が咲いたかを見るために」(6:11)。C 「私たちは、早く起きてぶどう園に行き、ぶどうの木が芽を出したか、花が咲いたか、ざくろの花が咲いたかを見ましょう。そこで私の愛をあなたに与えましょう」(7:12)。D 「私は...私のざくろの果汁からの香料を混ぜたぶどう酒をあなたに飲ませましょう」(8:2b)。E 「あなたの若枝は、最上の実を結ぶざくろの果樹園」(4:13a)。1 キリストが彼を愛する者を享受することにおいて、彼女は閉じられた園であって、あらゆる種類の異なる色の植物を、内なる命のさまざまな表現として成長させ、またさまざまな香りの植物を、円熟した命の豊かな表現として成長させます。2 これは主にとって、愛する者の美しさとなります。キリストを愛する者は今や命において豊かであり、実を生み出して養い新鮮にし、甘い香りを放ち、美しい色を展示し、キリストに享受していただきます。V 2ペテロ1:3~8に

は、神聖な性質を享受することを通して持つ、卓越した美德の発展があります。2ペテ1:3 彼の神聖な力は、ご自身の栄光と美德によって、私たちに召してください。ご自身を知る全き認識を通して、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、私たちにすでに与えています。5 まさにこのゆえに、勤勉の限りを尽くして、あなたがたの信仰に美德をあふれるばかりに供給し、美德に知識を...7 敬虔に兄弟愛を、兄弟愛に愛を供給しなさい。A「命と敬虔にかかわるすべての事柄」とは、神聖な命のさまざまな面であり、それらは良き地の産物の豊富によって予表されています。1 命は内側のものであり、私たちが生きることができるようにします。敬虔は外側のものであり、内側の命が外側で表現されることです。2 命は内側のエネルギー、内側の力であって、外側の敬虔を生み出します。それは栄光へ導き、また栄光という結果になります。B 信仰は、すべてを含む命の種と考えられ、愛は、その完全な発展における実と考えられるでしょう。C 最終的に私たちは、命における完全な発展と円熟を持ちます。それは、信仰という種から、美德と知識という根、自制という幹、忍耐と敬虔という枝々を通して、兄弟愛と愛という花と実へと至ります。

CP1 命の豊満は、召会の人性において表現され、警告の声は、召会の神性において表現される

II ざくろと金の鈴が、大祭司の上服(召会を表徴する)の底部にありました。出28:33 そのすそに、青色と紫色と緋色の撚り糸でざくろを作り、そのすその周りにこれを付け、その周りのざくろの間に金の鈴を付けなければならない。34 すなわち、上服のすその周りに、金の鈴とざくろ、金の鈴とざくろとなるようにしなければならない。A 召会は人性において命に満ちているべきです。これが、亜麻布で作られたざくろの意義です。B 召会は人性を、命の豊満の表現のために持っており、また神性を、金の鈴を鳴らすために持っています。1 命の豊満は、召会の人性において表現されますが、警告の声は、召会の神性(金の鈴)において表現されます。2 私たちはまず命の豊満の表現を持ち、次に金の鈴の音、すなわち召会の神性から出る語りかけを持ちます。3 私たちの人性において表現される命の美しさと、金の鈴から出る神聖な音は、正常な召会生活のしるしです。

私は長年の召会生活を通して、若い兄弟姉妹の語りかけによって何度も警告されてきたと証しすることができます。...それは私が、不注意に歩かないようにと私を警告する小さな金の鈴の音を聞くことのようにです。私たちがみな私たちの人性における命としてのキリストの豊満を表現するとき、私たちの間に多くの金の鈴があるでしょう。それから召会の神性を通して表現された神の語りかけ、神の御声

があるでしょう。私たちそれぞれの中に、ある量の神性があります。この神性の要素から、小さな鈴が鳴るように、音が小さな規模で出て来ます。...どちらが先に来るのか、鈴の音か、それとも命の豊満の表現かを告げることは困難です。いずれもキリストの長いそとしての召会の中にあります。...召会の中で私たちは人の統制の下にいません。...しかしながら、私たちはみなざくろと鈴によって統制されています。...[正常な召会生活の]しるしはざくろと鈴です。

適用: 青少年・大学生、新人編

証1 私は中学生の時にあまり勉強していなかったので、高校では一所懸命勉強して、良い大学に行きたいと考えていました。そのため両親に自分からお願いして、高校1年生の時から有名な予備校に通わせてもらいました。しかしどれほど勉強しても模試の判定は上がりませんでした。高校3年生の夏になっても成績は上がらず、足りない学力を補う為に志望校を絞って集中して勉強するように指導されました。私はこのまま偏差値の高い志望校に絞るのかそれとも諦めるのかとても悩みました。しかし内側で、次のような主の小さな警告の語りかけがありました、「あなたは中学生の時、勉強を怠けていました。高校になって最初にあなたが祈ったように、私と結合し、私と共に最後までベストを尽くすように」。この警告の言葉により、私は完全に主に依り頼みました。私は徐々に命と平安の感覚に満ちていきました。受験前日の主日集会には、今までに無いほど喜びで満たされて参加し預言しました。最終的に主の祝福の下で、模試の偏差値では合格する可能性のほとんどなかった第一志望の大学に合格する事ができました。主に感謝します。受験の時も召会生活の中で、主から警告の語りかけがあったことが、私の大きな助けとなりました。

証2 訓練一年目の最初の頃、私は一人バプテスマすることができました。私にとっては初めて得た実で、我が子のように感じました。彼女を大切に思い過ぎるがゆえに、どのように牧養していけば良いのかが分からず、たくさん思い煩っていました。少しでもLINEの返事が返って来なかったりすると、何かがあったのではないかと色々と想像して、ご飯も食べる事ができませんでした。また、何をやれば、何を話せば、彼女は喜んでまた接触してくれるのかと、頭の中で色々考えて、自分の天然の力に頼って接触し、行動していました。一人の姉妹にこのことについて交わると、彼女は「自分の思いに落ち込むのではなく、主に信頼して、彼女のために祈る必要がある」と言ってくれました。このような環境の中で、私たちは自分の天然の力

で何かを行おうとするのではなく、ゆりの花のように主に完全に信頼することを学びました。その後自分の天然の力に頼って新人を養おうとする時、内側で、アドバイスして下さった姉妹の言葉を思い出しました。そして主が、次のような警告の言葉を語って下さいました、「自分に頼るのではなく、私に来て、私に触れ、私を享受し、私に頼りなさい」。私は主に戻ることができました。

祈り おお主イエスよ、召会は人性における命の豊満の表現を持ち、また神性からの警告の語りかけを持ちます。召会生活の中で主の豊満を享受し、主からの語りかけによって制御され、神人の正常な生活を持つことができます。私の人性において命の豊満を表現できますように。同時に私は墮落し易いので、金の鈴、神性の警告の語りかけを聞く必要があります。

CP2 天然の存在が消え去る時、霊的な空気の実際の中にあるキリストの命の豊かな表現を持つ

III 宮の柱の頂にある柱頭を囲む200のざくろは、命の豊富の表現を表徴します **エレ52:23** また、空中に向かって96のざくろがあり、周りの網細工の上には全部で100のざくろがあった。 **ヨハネ7:38** 私の中へと信じる者は、...その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る。 **A** 自分自身を裁く者(青銅)と、自分自身を無と考える者は、錯綜した複雑な状況(格子細工の網と鎖細工の飾りひも)のただ中で、完全に責任を担うことができます。なぜなら、彼らは自分自身によってではなく、神にある信仰(ゆりの花の細工)によって生きるからです。ですから、彼らは200倍の命の豊富(ざくろ)を表現します。 **B** 100個ごとのざくろのうち、96個が空中に露出しており、4個が覆われていました。 **1** 命の豊富の表現は永遠に完全であり、復活の新鮮さの中に、またその霊の中にあります。 **2** 100個ごとのざくろのうち4個が隠されていたという事実は、私たちの天然の存在、私たちの天然の命、私たちの自己が隠されなければならないことを示します。 **3** 私たちの天然の存在が消え去るとき、私たちは、96個のざくろ、すなわち、霊的な空気の実際の中にあるキリストの命の豊かな表現を持ちます。

私たちの命の豊富の表現は永遠であり、復活の新鮮さの中にあるだけでなく、絶対にその霊の雰囲気の中にあります。...私たちが死で満たされた状態の中へと入るときはいつも、息苦しさを感ずります。しかし、私たちが命の豊富の表現で満ちた状態の中にあるとき、自分が霊的な雰囲気の中にいることがわかり、新鮮にする空気があることを感ずります。これが、空中に向かっている96個のざくろの意味するものです。...100個ごとのざくろのうち4個が隠されて

いたことは、私たちの命の豊富の表現が永遠であり、復活の中に、その霊の中にあり、4という数で表徴される私たちの天然の存在は、覆われていなければならないことを示します。私たちの天然の命、天然の存在、自己、自我は、完全に隠されなければなりません。...キリストの豊富が表現されているとき、他の人は復活の中、その霊の雰囲気の中にある命の豊富の永遠の表現を見ることができますが、私たちの天然の人がどこにいるかを言うことは困難です。私たちの自我が覆われていることを見るのは、何と意義深いことでしょう! 「私」が現れるときはいつも、4という大きな数がそこにありますが、96は去ってしまうでしょう。空気ではなく、ただ天然の命、古い人、自我があるだけでしょう。しかし、4という数が消え去るときはいつも、私たちは96個のざくろ、空中のキリストの命の豊富な表現を持つでしょう。

適用: ビジネスパーソン、大学院生編

証 私は32歳の時から特別集会で、台湾の同労者の通訳をするようになりました。私は体力と集中力に自信があったので、自慢の体力と集中力に頼って通訳を行っていました。しかし、特別集会が終わると、へとへとに疲れ切ってしまう、病人のように弱くなりました。そんなことがしばらく続いた後、主は私を憐れんでくださり、私に次のように語って下さいました、「あなたは自分の体力と集中力に頼ってはいけない。私があるあなたの真の体力、集中力、理解力である」。私は主に開いて、この啓示に従って祈りました。そうすると直ぐに、私は、主の中で緊張しないで、集中して通訳をすることができるようになりました。集会后、消耗し切ってしまうこともなくなりました。

33歳の時に、消費財メーカーで世界最大手の会社に転職しました。この会社では、新卒で入社した社員はすべて京都大学、大阪大学などの一流大学の出身者でした。彼らは英語力や科学的知識において私よりずっと優れていました。この時に私は正直にその事実を認めて、次のように祈りました、「主イエスよ、彼らは私よりもかなり優れています。しかも彼らは夜遅くまで残業しています。私は能力において劣っており、召会生活の集会や訪問で、余り残業はできません。このような状況で、通常であれば私は必ず失敗します。しかし、私はなおあなたに来て、あなたに触れたいのです。そして、あなたと結合し、信頼します」。私は劣等感の中で打ちのめされていた時も、主に信頼することを学びました。

その後、主は私に次のように示して下さいました、「あなたの自己の中には、劣等感があり高ぶりがある。しかし、あなたは信仰によって、自己から

神戸に在る召会交わりと報告事項

出て来て、私の中の卓越した嗣業を享受しなければならない」。私は主を享受することで、徐々に劣等感から解放されるようになりました。同時に、他の人の優れた長所を尊重するようになりました。

1995～2011年の間、私は外資系会社で働いて、3回の転職の大変化を経験しました。私は転職の秘訣は、「主の臨在が私と共にある」にあることに気付きました。[出33:14](#) エホバは言われた、「私の臨在があなたと共に行って、私はあなたに安息を与える」。15 モーセはエホバに言った、「もしあなたの臨在が私たちと共に行かれないなら、私たちをここから上らせないでください。私は自分の天然の感覚を否み、主の臨在と平安に注意して、転職において主に導かれました。ある時は、私は転職しないことを決めた後、明らかに平安を失いました。そこで、私は思いを変えて、転職することを決めました。私自身はなぜ転職しなければならないのかよく理解していませんでしたが、内側の主の導きに従って、転職しました。そして、主の臨在と祝福を経験しました。私は3回の転職の度に、会社における地位を、一般社員⇒Manager⇒Director⇒VPと大きく前進させることができました。

2011年3.11の東日本大震災の後、福音開展において、私たちは次のように宣言し始めました、
"I am nothing but sin. Apart from You, I can do nothing. But I can do all things in You who empowers me" (私は罪にほかなりません。あなたから離れて私は何もできません。しかし、私を力づけてくださるあなたの中で、すべてのことを行うことができます)。

このようにして、私の自己の中の劣等感と高ぶりが少しずつ隠されるようになってから、会社においても命の豊富な表現が少しずつですが、明確に現れるようになりました。そして、東京大学の博士、京都大学修士などの最高の学歴を持った部下たちを大勢持つようになりました。私はできるだけ彼らの能力を最大化するように努めました。彼らを上手くマネジメントできたので、業績を上げることができたと思います。その結果、私は彼らからも信頼され、尊敬されることができました。

祈り おお主イエスよ、私の自己の中の劣等感と高ぶりが少しずつ隠されなければ、命の豊富な表現が現れることはできません。私の天然の存在が消え去るとき、霊的な空気の実際の中にあるキリストの命の豊かな表現を持つことができます。私は毎日、告白します、"I am nothing but sin. Apart from You, I can do nothing. But I can do all things in You who empowers me".

1. バプテスマ:

- 4/9 鄭弘敏S(神大M2、六甲)
- 4/11 本田来遥S(専門学校1年、魚崎・六アイ)
- 4/12 周馨驥S(神大D2、六甲)
- 4/13 周徳生B(三宮・神戸)

2. YP地区のバプテスマ:

小5の林明晨君と劉宇豪君は、本日六甲でバプテスマを受けます。青少年のバプテスマが祝福されるようにお祈りください。

3. 今週の福音開展の開催場所:

- 月曜: 15:00-17:00@六甲
- 火曜: 10:30-12:30, 15:00-17:00@六甲
- 水曜: 10:30-12:30@夙川/六甲
- 木曜: 10:55-12:30@本山
15:00-17:00@魚崎
- 金曜: 10:30-12:30, 15:00-17:00@六甲
- 土曜: 10:30-12:30, 15:00-17:00@三宮・神戸

4. 4月国際長老訓練:

余力Bは、4/11-16までアナハイムで訓練に参加中です。

【オンライン】

- 4/19(金) 8:30-17:30 M1,2,3
- 4/20(土) 8:30-17:30 M4,5,6
- 4/21(主) 13:30-17:30 M7,8

5. 7月ビデオ訓練申し込み:

昨年12月のオンライン訓練に参加したBSは、キャンセルが無い限り、継続参加とします。継続参加されるBSは、4/18(木)までに武富夏美Sにまで参加献金1万円を渡してください。

6. 海外からの兄弟姉妹訪問スケジュール:

4/20-24 台北市100集会所(21名)

7. 月曜20:00-21:00責任者・奉仕者祈りと交わり:

4/15 YP/六甲

8. 5月特別集会@魚崎:

- 5/3(金・祝) 13:45-15:10 M1
15:30-17:00 M2
- 5/4(土) 13:30-15:00 M3
15:30-17:00 M4
- 5/5(主) 10:00-12:30 パンさき集会和M5